

# 「それって犯罪なの？」

## 犯罪 美変

### 第2部 万引き 崩壊するモラル ④

9月上旬の週末の昼下がりに、東京都内の警察署の廊下で、生活安全課の一室から力のない嘆き声が漏れてきた。

「何を言っても聞く耳を持ってもらえない。親として自信を喪失しています」

数時間前、スナック菓子で万引きして補導された少女(16)の父親が、捜査員に訴えていた。母親も泣きつくように、隣室で事情を聞かれている娘の問題行動を並べ立てた。

コンビニでアルバイトをしていると言っていたのにウソだった。格好が派手になって、今着ている服も家では見たことがない……。悲嘆にくれる両親に、捜査員の口調は厳しかった。「親が叱ることをあきらめたら終わり。今、『万引きは犯罪だ』と教えなければ、あの子は他の犯罪にも手を染めてしまう」

捜査員は、親のあるべき姿について3時間も話し続けたが、両親は少女と誓を

# 子を叱れない親も

出るとき、腫れ物に触るように距離を保ったままだった。「子どもとの衝突を恐れて、叱ることできない親が珍しくない。それを交えないと、子どもを立ち直らせることも難しいのに」

捜査員は見送った後、小さなため息をついた。  
\* 「何で来てくれないのかな」。今年初めの午後9時過ぎ、警視庁渋谷署で、化粧品を万引きして補導された少女(15)が、さみしそうにつぶやいた。

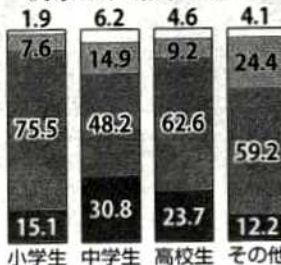
署員が自宅に連絡したところ、母親が、こう言い返して来たからだ。 「万引きって犯罪なんですか？ わざわざ引き取りに行くつもりなんてない」。署員の説得は30分間続いたが、母親は「夫に相談します」と言って電話を切り、父親が現れた時には、午前4時になっていた。

少年(16)の母親は、一すくに迎えに行く」と返事をしたまま、深夜になっても姿を現さなかった。署員が少年を自宅まで送って行くのと、母親の姿はなかった。明かりの消えた家に入った少年は約1週間後、バイクを盗んで逮捕された。

「子どもながらに『親から見放された』と感じたんだろ」。担当した署員は残念そうに振り返った。  
\* 6月中旬、福岡市の福岡家庭裁判所。その会議室に、万引きで補導された少年9人と、その保護者たちが並んで座っていた。「万引き『犯罪』という意識を保護者にも自覚してもらうため、家裁が親子そろっての参加を義務づけた更生プログラム。講師役の書店経営者、大石宏典さん(67)が、



▲万引きで摘発された少年が保護者のしつけに抱いた感想 (2009年8月警視庁調べ、対象428人、数字は%)



「親のモラル低下は想像以上に深刻。子どもの指導法だけでなく、親への教育を社会全体で考える時が来ているのではないか」大石さんは講演を終えると、険しい表情で語った。

□不明 ■甘い ■普通 ■厳しい

▲万引きなどの非行が多発する繁華街では、警察官が少年に積極的に声をかける(9日夕、東京・渋谷区のJ&K渋谷駅前)